

漆工芸はやし

- ▶ 対象類型 製造環境
- ▶ 事業類型 設備投資のみ
- ▶ 主たる目的 技術革新／生産性向上

伝統技術を生かし多種多様な製品を製造する革新的な塗装装置の導入



- | | | |
|---|---|--|
| 2 | 1 | 1／今回導入したクリーンポンプレス・ブース(PLB-3S)。小物であれば2カ所に分けて作業できる。 2／実際の塗装の様子。気流の横揺れが少なく、熟練技術者でなくとも高品質の塗装が可能。 3／自動化装置の充実により作業効率が高まり、生産性が向上した。 4／3メートルまでの多種多様なサイズのものに塗装を施せる。 |
| 3 | | |
| 4 | | |

メーカーとの共同研究を重ねた塗装装置で、世の中のニーズに応える。

漆工芸はやしは、漆器の生産工程の中で「塗装」と「加飾」の2工程を担当している。時代の変化に合わせ、木だけでなく合成樹脂などの素材に対して高品質の塗装ができるウレタン塗装にいち早く転換し、堅調な業績を維持してきた。近年は、取引先企業が食器以外の分野(家具・住宅建材等)にも進出し、大型製品への塗装を求められることが増えてきたが、これまでの装置では対応ができていなかった。また、塗装工程は熟練技術者による手作業が中心のため生産性が低く、さらには作業環境が悪いことから、技術の継承が危ぶまれていた。

こうした課題を解決すべく、塗装装置メーカーに依頼し新たな装置の開発に取り組んだ。共同研究を経て出来上がった塗装装置には、①高速気流によって起こる水の吸引作用を利用することで作業が容易になる ②装置の幅(3メートル)までの多種多様な大きさの製品に対応できる ③気流・水の吸引制御など自動化されている部分が多く作業効率が高まる、といった特徴がある。また、塗装の粉塵を含んだ空気が高速で洗浄室内に吸引され、清浄な空気になって排出されることにより作業環境が改善。長期的な事業発展の体制を整えることができた。

注目すべき成果

▶ 生産効率アップ。大型製品など多様なニーズにも対応。

手作業が中心の塗装工程に装置を導入したことで、作業効率がこれまでの1.8倍となり、逃がしていた受注に応じられるようになった。さらに、3メートルまでの大きなサイズの製品への塗装が可能となった。

導入による付加価値

▶ 熟練工から若手へと、塗装技術の継承が可能に。

塗装装置の稼働が簡易化されたことにより、非熟練者でも高品質の塗装ができるようになり、熟練技術者からの指導を受ける時間もとれるようになった。また、作業環境が改善されたことで人材の確保も見込める。

今後の展望

▶ 技術を磨き、地元漆器産業の発展を支え続ける。

時代のニーズに応えることで発展を遂げた鯖江の漆器産業。その技術を生かして新分野に挑戦する企業も増えてきている。この流れに対応し、様々な製品への塗装や模様を施す技を磨いて産地と共に成長を続けていく。

ものづくり専門員から一言

製造環境改善が生み出す好循環。

製造環境が整備されて埃等の混入がなくなり、不良率の低減にもつながっている。加えて、塗料の粉塵飛散が清浄化されることで従業員に優しい作業環境に。また、これまで対応困難となっていたサイズへの塗装が可能となり、伝統工芸技術の転用・新分野進出に大きな期待が持てる。

こんな会社です！



代表
林 義彦 さん

「より良いものを」念頭に、お客様目線で品質向上。

質の良いものを効率的に生み出すべく、一貫生産体制を構築し、あらゆるニーズにお応えしています。創業以来培った経験、知識、ノウハウを結集して基材の性質を見極め、それぞれの製品に最適な方法で着実な塗装を施します。技術革新は常に現場で起きているという考えのもと、「より良いものを」を経営理念に、当事業所とお客様双方が納得のいくものづくりをいたします。令和2年にはオリジナルブランドを扱うオンラインショップをスタートしました。見た目だけでなく、丈夫で日常的に使いやすい漆器製品を作り出していきます。



オリジナルブランドの商品「千筋椀」。



事業所

漆工芸はやし

代表者／代表 林 義彦
設 立／1930年(昭和5年)4月
従業員数／5名
事業内容／漆器の塗装及び加飾

本社：〒916-1237 鯖江市北中町710
☎0778-65-0672 FAX.0778-65-3366
E-mail urushikougei@ninus.ocn.ne.jp
URL <https://urushi-hayashi.com/>